

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
住生活設計 I	出口 基樹	演習	2	建築士	1, 2, 3, 4	1, 3	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	快適かつ魅力的な住生活を設計する能力を得ることを目的に、その空間を構成するために必要なスケール感を身に付け、建築を立体的に理解・創造する能力と表現する能力を養う。設計実習では、小空間と戸建住宅の2課題に取り組む。戸建住宅の課題は、主として木造2階建て程度の規模とする。						
到達目標	住生活空間における適切かつ快適な大きさ・長さを理解し、スケール感を身に付ける。 住生活空間の基本形である戸建住宅の概略設計をするために必要な能力を身に付ける。						
回	学習内容						
1	ガイダンス、小空間（個室、ワンルーム等）の設計（1）出題						
2	小空間の設計（2）エスキス（コンセプト・平面）						
3	小空間の設計（3）エスキス（コンセプト・平面の再検討）						
4	小空間の設計（4）エスキス（平面・断面・展開等）						
5	小空間の設計（5）エスキス（平面・断面・展開等の再検討）						
6	小空間の設計（6）図面チェック						
7	小空間の設計（7）作品提出・講評、戸建住宅の設計（1）出題						
8	戸建住宅の設計（2）エスキス（コンセプト・配置・平面）						
9	戸建住宅の設計（3）エスキス（コンセプト・配置・平面の再検討）						
10	戸建住宅の設計（4）エスキス（平面・断面・立面・展開等）						
11	戸建住宅の設計（5）エスキス（平面・断面・立面・展開等の再検討）						
12	戸建住宅の設計（6）図面チェック（平面・断面等）						
13	戸建住宅の設計（7）図面チェック（提出図面一式）						
14	戸建住宅の設計（8）作品提出・講評						
15	まとめと確認						
予習内容 復習内容	予習：その回の目標として示された事項に取り組み、計画案を作成する。 復習：指摘事項を理解したうえで、計画案の見直し・改善を行う。						
教科書	教科書は使用しない。演習課題ごとに資料を配布する。						
成績評価	出席を毎回取り、6回以上欠席した場合には評価の対象外とする。 2課題のうち、1つでも作品が未提出の場合は評価の対象外とする。 2課題の成果をもとに評価を行う。（小空間の設計 40%、戸建住宅の設計 60%、計 100%）						
実務経験	住宅をはじめ様々な建築の設計実績を持つ一級建築士として、その経験を活かし、コンセプト立案・計画・設計手法について講義を行う。						
その他 特記事項	作品を完成させるためには、授業時間だけでなく、時間外での自主的な取り組みが不可欠である。 身のまわりの建築・空間・スケール・素材等を常に意識し、感性を高めることも重要である。 「建築製図基礎」を履修していることが望ましい。						